

田原市立田原福祉専門学校後援会機関誌

たつぷく だより

No. 10

編集発行 平成 19 年 3 月 1 日
田原市立田原福祉専門学校後援会
会長 林 和彦

田原市立田原福祉専門学校 開校 10 周年記念式



開校10周年記念式典であいさつする白井市長

「伝統」



校長 高松 徹

田原福祉専門学校は昨年十月一日十周年記念式典を行いました。設立以来ご理解とご支援をお寄せくださいました皆様が多数ご列席くださり心から感謝申し上げます。

この十年間に七〇九名の卒業生が地元をはじめ各地の福祉施設で介護福祉士として活動しています。

私は就職先施設などから「たつぷく」卒業生の活躍を聞かせていただくことがあります。そんなとき、苦心したり工夫したり、学んだことを思い返したりしながら、利用者の介護に懸命に取り組んでいる卒業生たちの姿を思い浮かべます。

日頃の仕事が、目に留めていただけのこと、誠によろこばしいことです。そのような事例が重なるとき、「たつぷく」卒業生は、のちに繋がるのかと考えますと、聞かせていただく声の重さを痛感させられます。

学校の評価は、卒業生の真摯な活動によって築かれるものであり、その姿勢を、あとに続く学生たちが、自覚と誇りをもって、受け継いで行くとき、それが「伝統」になっていくことを思われます。十周年はその貴重な道標となりましょう。

開校十周年を祝う

開校10周年によせて

顧問 古田 勝美

このたびは田原市立田原福祉専門学校が開校10周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

貴校におかれましては、平成八年全国で二番目の町立の福祉専門学校として開校され、当時では、大きな話題となりました。

大勢の卒業生が「福寿園」で活躍されています。田原福祉専門学校卒業生は福寿園の宝です。

現在、福祉を取巻く環境は大変厳しい状況になっております。どうか、それに耐えられる強じんな精神力と人間味溢れる豊かな心を持った学生を送り出していただけることを切に願っております。

(福寿園理事長)

新たな挑戦を

顧問 藤城 正行

開校10周年おめでとうございます。光陰矢の如し、平成八年頃、蔵王苑も建設を進めている時でした。

福祉の現場では、「働く人が最も大

切」と考えて、十六名のたつぷく卒業生を採用しました。面接試験の時、「大きな声」「はきはきした態度」が

印象に残っています。卒業生は、蔵王苑で大活躍しています。第一期生の石田房枝指導員が、今、田福の専任教員として活躍していることでも証明されます。

今後新しい方向性を模索し、地域福祉の開拓者として、人材育成に挑戦されることを期待します。

(蔵王苑 理事長)

十周年を迎えられて

顧問 中野 正通

開校10周年おめでとうございます。

開校当初を振り返ってみますと、田原市の福祉専門学校設立に対する熱い思いを強く感じ、このような環境で学習できる学生は非常に恵まれていると思えました。

明るい笑顔と元気な挨拶、陶芸、演劇公演等の文化活動と、幅広い活動に感じています。

十年が過ぎ、多くの卒業生が福祉施設で活躍しています。学校の先輩、後輩との関係は、施設内に留まらず、

他の事業所との情報交換等が可能であり、これからの田原市の福祉サービスの向上に繋がると考えます。

(あつみの郷 所長)

開校10周年によせて

顧問 豊田 慈 證

開校10周年おめでとうございます。トンガリ屋根の時計台もすっかり池ノ原の景色に溶け込んで、なくてはならない田原の風景となった気がします。

十年ひと昔といいますが、目まぐるしく物事が移り変わる現代の十年は、昔の二十年・三十年に匹敵する値があります。

介護福祉を取り巻く状況も大きく変わっていく中、多くの卒業生の皆さんが、地域福祉を支えておられる事を思うと、価値あるこの十周年をステップとして、田原福祉専門学校さらなる発展を多いに期待するものであります。

(田原市社会福祉協議会会長)

後援会の発足

富田 雅 則

開校10周年おめでとうございます。

後援会は、長女が一期生としてお世話になってる時に、設立の話が進みました。新しい学校を地域を含め

て多くの人たちに早く認知してもらうこと、各地から集まってきて二年間恵まれた環境で伸び伸びと生活してもらうために、応援できることはないか模索を始めたのです。

後援会も十年という一つの節目を迎えたわけですが、これからも在校生・卒業生・地域に対して応援を続けていってほしいと思います。貴校ならびに後援会がますます発展されることをお祈り申し上げます。

(後援会設立委員長)

体育館がほしい

相談役 川澄 春 男

創立10周年記念式典が終わりました。この10年間、後援会も、微力ながら、協力と応援を続けてきました。皆さんを代表して、立派な「感謝状」を頂きましたことを報告します。これからも、学校や学生の福利のために協力支援をしていくつもりです。

後援会では、最近卒業生による後援活動が活発になってきました。二・三年後には、卒業生による同窓会として活動できるようになれば最高ではないかと思えます。期待しています。

最後になりましたが私のひとり言。「一日も早く、体育館がほしいですね。」

(前後援会会長)

この人に聞く

8 期生

大須賀さよさん

今回は、8 期生の 大須賀さよさんが働いている西尾市にある社会福祉法人きらら会の特別養護老人ホームのせんねん村を訪ねました。

せんねん村に近づきますと、コンクリートの壁ではなく土壁や瓦屋根で「施設」のイメージはありません。また中央には魚が泳いでいる池もあります。そこは事務所を通らなくても行くことができるようになっていまして、近隣の方が公園代わりに使われることもあるそうです。

せんねん村の建物は 2002 年愛知県主催の「愛知まちなみ建築賞」受賞、とのことでしたが、納得できる建物です。

建物の中は床・壁・天井と、木材がふんだんに使われており、自然と木の香りが満ちてぬくもりいっぱいです。

入ってすぐに、八角堂がありまして、そこは地域の人や村人さんたちの交流の場で、今回尋ねた際にはちょうど地域の方



ちがコーヒーを飲みながらくつろがれていました。

建物の中には福祉犬のラブラドルレトリバーもいて村人さんや職員癒しの存在となっています。

せんねん村では、入居者さんを村人さんと呼んでいるとのことでした。

介護の道に進もうとした理由は？

私はおじいちゃんおばあちゃん子

で、昔から今で言う宅老所によく出かけていました。一緒に過ごすことがとても楽しく、自然と介護の道に進もうと決めていました。

せんねん村の就職理由は？

実家は豊橋なのですが、祖父母がこちらの近くに住んでいまして、卒業後は三人で一緒に暮らそうと決めていました。

就職活動をしているときに、せんねん村のホームページを見つけ、内容を見て、よいところだなと感じていました。就職説明会に参加すると職員さんの対応がよかったこと、そして施設の理念に感動を覚えまして。こちらに施設見学に訪れた際、村人さんの「なにもないところだけどゆっくりしていいの？」とびっぴりという言葉に感銘を受け、いいなと思いつちらの試験を受けることを決めました。

実際に働き始めてどうですか？

学校の実習の時は大きな病棟が多く、大人数の利用者さんと向き合っていました。「ここはユニットケアで 2 ユニット、16 名の村人さんですので、「こんなに少なくないの？」とびっぴりしたことを覚えています。

仕事で大変なことはどんなことですか？

休みがどうしても少なくなっ

まうところですかね。でも、私は村人さんたちが好きですので気にはなりません。

今までの仕事の中で思い出はありますか？

ここでは各ユニットで毎月一回、外出や行事などのイベントがあります。その計画をユニットの職員で交代して行っているのですが、自分の担当の際に、普段なかなか外に出かけることの少ない四人の村人さんと吉良町にあるきらら会のグループホームまでドライブに行こうと考えました。移動方法や、安全管理などいろいろなことをしっかり考えました。実際にドライブし、怪我や事故がなかったこと、村人さんに楽しんでいただけたことが思い出に残っています。

仕事の中のやりがいは？

いろいろあるのですが、私は村人さんがとにかく好きです。一緒に過ごしている中で、村人さんの笑顔やありがたうの言葉が返ってくることに一番うれしいです。そのために仕事をしているわけではないですが、普段笑顔が少ない方であっても、どうすればよい顔になれるのか考え、いろいろなアプローチを試してみたりして、笑顔が返ってきたときはこの仕事をしていてよかったと思います。

活躍する卒業生紹介

6期生 藤原史実恵さん

私は、専門学校1年生の夏に、原付バイクの事故で、膝を痛めてしまいました。松葉杖だった私をクラスの方が送迎してくれ、お陰で何とか通学し、卒業まで過ごすことができました。

足を痛めてからは、当たり前になってきたことが次々とできなくなり、今思うと、足が悪いのに介護福祉士になろうとしていることが矛盾だったと思います。思い通りに動けないもどかしさ、この先どうなるのか不安でした。でも、だからこそ、分かっていたことも多く、今の私がいるのも、このたつぷくの生活があったからだと思います。

足の悪さから、実習や働くことに自信がなかったけれど、どうしても介護の現場で働きたかった私は、強引にデイケアに就職しました。面接のときにも足の悪さを伝えたくて内定をもらったのですが、4ヶ月後に足を理由に解雇されました。悔しかったです。

一度介護を諦め、OLに転職しましたが、分からないことだらけで、お茶くみから怒鳴られ、それでもな

ぜか入社5カ月後には、上司に丸め

込まれ主任に抜擢されました。OLの友人もいないため、一緒の職場の部下（と言っても年齢ははるかに上）に聞いたり、若さと常識のなさを前面に出し、社会保険事務所や銀行などに問い合わせを繰り返していきまし。OL時代も「介護職に戻りたい」という気持ちはずっと強く持っていました。仕事で失敗しても、「いつか介護に戻ってやる!」と思っていてため、落ち込むことも少なかったと思います。

介護に戻ろうと決めていた目標の中に「正座ができるようになったら」というのがありました。事故をして1年間はほとんど曲がらなかった足がある日突然、正座ができるようになり、ようやく介護に戻ることが



できました。今は療養型病院へ就職し、毎日楽しく充実した日々を送っています。膝に爆弾を抱えてはいませんが、他のスタッフと同様に介護ができています。

今の病院の面接で、言われたことは、「足の悪いことを他のスタッフ・患者・家族に伝えるのなら採用はしない」とのことでした。私は「足の悪いことを前に出して、他の人に甘えるつもりはなく、迷惑をかけたくない」という気持ちでしたが、「足が悪いのを知っていて誰がケアをお願いするのか」という意味でした。私は足を悪くしてから、「諦めない、やれるところまではやってみる」という信念を持っていました。しかしそれは対スタッフということばかり気にし、一番優先すべき患者・利用者の気持ちを考えることが少なかったようです。時々辛いこともありましたが、時には試練も必要で、それを乗り越えたとき成長できるんだなあと思います。今、介護の現場で働けていること、あのときを乗り越えたからこそだと思えます。人生諦めたらそこまで。強い気持ちを持っていたからこそ、今の私がいること。今まで支えてくれた方々に、感謝の気持ちを忘れずに、これからも諦めず前を向いてしっかりと歩いていきたいです。

お知らせ

後援会総会に合わせて、六期生の同級会を開催します。

- 1.日 時 / 平成19年5月13日(日)午前10時から
- 2.集 合 / 田原福祉専門学校

六期生同級会世話人代表 古橋 賢 司

田原福祉専門学校 ☎0531-22-3939

1 期生 蔵王苑

佐藤 三智子さん

卒業後の福祉施策は、激変の一途を辿り、援助の在り方も多様化しているが、一番影響を与えるのは「人」である。私は、技術だけでは留まらない人の思いを汲み取る大切さを在学中に学んだ。「人が人を援助する難しさ」を感じる日々であるが、今後、この学校で学んだ援助の基礎を誇りに、「より良く」目指したい。

4 期生 蔵王苑

西山 高 央さん

私が卒業して5年が経過致しました。10年一昔と言われますが、5年という間にも介護を取り巻く状況は大きく変化致しました。今後より良い福祉サービスを提供していく為には人材育成が重要になると考えられます。各職場から「たつぷく生は一味違つね」と言われるような授業内容・校風になることを願います。

3 期生 ケアポート白鳳

中 森 留美子さん

もう専門学校を卒業して7年が経ちました。私達3期生が卒業し就職したのは、介護保険スタートの年でした。就職した当時は介護保険が始

まるということ、職場自体もバタバタしていました。しかし、卒業してからあつという間だったような気がします。今でもたつぷくの仲間とは連絡を取り合ったりしています。去年は演劇OBと一緒に久しぶりに舞台に立つこともできました。ここたつぷくで出会った仲間を大切にしていきたいと思います。

5 期生 たけのこ

嶋 本 成 子さん

私が介護の現場で働いていて悩んだ時はいつも田原福祉専門学校で学んだことを思い出して、介護の基本に戻ること一つひとつ乗り越えてきました。介護を技術だけでなく、様々な視点から考えることを学べたことは心から感謝しています。母校の今後の更なるご発展をお祈り申し上げます。

2 期生 いやしの里 ハナモト

原 田 美 里さん

専門学校を卒業後、老人保健施設デイサービスで働き、現在はグループホームで働いています。最初の頃、覚えることが多く、日々業務をこなすのに必死で、相手の立場に立って相手のペースで介護することができませんでした。今働いているところ

はアットホームな雰囲気です。笑い声も多く、一緒に楽しく過ごしています。介護の仕事を辞めようと思ったことが何度もありましたが、たつぷくでの2年間の思い出、また、新たな気持ちで続けています。自分が健康であり、気持ちにゆとりがあることがよい支援ができます。そして、福祉の仕事ができることにしあわせを感じています。

6 期生 可知病院

比 嘉 マリサさん

私はたつぷくを卒業して4年になります。とても早く感じていました。が、たつぷくが10周年を迎えると聞いて歴史を積んでいると感じました。今、たつぷくの先輩と一緒に仕事をしています。先輩方は明るくて、やさしくて、頼りになる方々ばかりです。そういつ方々がいるので仕事がとても楽しいです。これからも明るく、やさしいたつぷく生を待っています。

7 期生 くるみ荘

金 原 光 里さん

特養で働き人間の最期と直面する機会が多く、改めて命の大切さを考えさせられ、介護士に就いて良かったと感じました。仕事で失敗した時や反省する時など、たつぷくでの先

生方からの助言や試験、実習で辛かった時の事を思い出して、初心に戻っています。これからも初心を忘れず頑張りたいです。

8 期生 豊橋元町病院

小 林 由 香さん

私たちは田原福祉専門学校でしか学べないことを、たくさん学ばせて頂きました。2年間の学校生活は苦しかった思い出や、楽しい思い出がたくさんです。学校に行くといつも皆が笑顔でいてくれて、安心できる場所でもありました。10周年を迎えました。いつまでも温かい私たちの学校であつて欲しいです。

9 期生 まほら舞阪

中 野 裕 介さん

私は、二年間の学びの中で多くの事を感じました。実習やテストの時不器用な私の背中を押してくれた仲間とのつながり、一つの物事に対して多方面から見る難しさ、仲間との話し合いの重要性、そして、悩んだ時や辛かった時に優しく受け入れてくれる先生方、学校の存在の大きさなど数え切れない程の事を感じました。たつた二年でも、大切に、忘れることのできない、忘れたくない二年間でした。

楽しい福祉文化活動(二)

本校の特徴のひとつである「福祉文化活動」を紹介します。これは福祉の中に文化という視点を取り入れて、利用者の方が、生き生きとした自分たちの個性を発揮しながら趣味活動や、文化活動をできるように、それを一緒に援助できる介護福祉士になれるようにと行っているものです。7教科の中から、各自好きな科目を選択して受講します。今回は、先回紹介した4教科に続き、残りの3教科を学生へのインタビューで紹介しします。

籐芸

北河和樹さん・中村阿希子さん・野田奈津実さん・湯口智美さん

皆さんが籐芸を選んだ理由は？

先生が優しく、おしゃべりしながら楽しくできると聞いて。

実際にやってみてどうですか？

最初に先生から、「籐は生きている。心を入れれば籐もかわいい」と言われたんだけど、まっすぐに作っているつもりなのに、くびれたり歪んだり、思い通りにならなくて、難しい。でも、心を込めて作ると、



本当に作品にも愛着がわきます。

思い通りにならないんですね。

細かい作業は面倒くさいし、でも同じものを作っても、それぞれ違って、味があるので面白いです。

どんなものを作っていますか？

今は、手提げバックとか、ベル(鐘)。1年間で5種類くらい作りま

す。
ベルは小さいものもあって、細かい作業が難しそうですが、籐芸はどんなところが難しいですか？

編み始めと編み終わりが難しいけれど、大変なときは、先生が手伝ってくれるから大丈夫。みんなこれまで経験はなかったけれど、ワイワイおしゃべりしながら編んだり、黙々と編んだりして楽しんでいます。先生の話も楽しいし、しっかり聞いていると、聞く姿勢ができていくって褒めてくれて、先生がかわいいんです。それに、根をつめて作っていると、忍耐力がつく気がして、籐に向き合って精神統一の時間にもなっています。無心になれることに気がつきました。人生勉強みたいです。

園芸

長谷川綾さん
森山友香さん

園芸をやってみて感想は？

植物を育てるのは大変。水をやらなかったら、メロンも大根も枯れました。今まで他の人がやってくれていたので、気づきませんでした。

授業はどんな様子ですか？

まず、教室で先生の用意してくれたプリントで講義を受け、それから温室などで植物の世話をします。

プリントには、植物の歴史や名前、植える時期や道具とか、本格的に載っていて、卒業後も施設とかで役に立ちそうなので、とってあります。それに、プリントの片隅には、愛についてとか、スニーカーとかアダル

トチルドレンについて書かれていて、人生について熱く語って下さいます。

とても活気がありそうですね。

講義の後、温室で、草取りしたり耕作したり植物を植えたり、みんなで話しながらだから楽しい。



作業しながらとか、授業後にも先生が相談に乗ってくれて、人生経験が豊富で面倒見がいいので、話が尽きないんです。

素敵な先生ですね。

この前は、2年生が実習から帰ってきて、1年生が実習に行く時期だったので、2年生の自分たちで提案して、実習のことをふり返って1年生に伝える機会をつくってもらいま



した。1年生が真剣に聞いてくれて話している2年生も先輩らしいしっかりしたコメントして、いいアドバイスになったと思う。そんな私たちの提案も受け入れてくれるから、楽しく授業が受けれます。

茶道

木村光香子さん
村田美穂さん

茶道を選択した動機は？

お茶の立て方を知らなかったの、覚えたいと思って。一つひとつ覚えていく楽しさがあります。最初は正座が辛くって、10分で足が痛くなっただけで、今は慣れました。畳の縁を踏んではいけないとか、作法も、教わりました。

所作も美しくなりますね

特に箸の持ち方は、普通に食事するときにも周りの人に感心されるので、やっつけて良かったと思います。掛け軸とか季節の花のことも気になるようになって、お月見など季節の行事、言葉の意味も知りました。

日本文化の理解もできますね

日本独特のものを一つでも知っておくといいと思っています。漆塗りの棗も丁寧に扱う、物を大切にすることも教わりました。祖母がお茶が好きで、時々立ててくれたり、お茶席と一緒に出かけたりするときに、楽しんで飲めますし、一緒に立てて喜んでいきます。施設でも、利用者さんに喜ばれます。

学園祭でも活躍でしたね

学園祭は準備から大変でしたが、励みになったと思います。他のところを回れなくて残念でしたけど。着物を着てお手前をしたので、家族も喜んで写真を撮ってくれました。

学園祭では、抹茶茶碗も自分たちで作ったものを使っていますよね

お手前が出したとき、いい形をしているってほめられて嬉しかったです。作っているときもどんな形にしようとか、できるまでもワクワクして、いい経験をしました。

学校だより

職員紹介



齋藤 真美 司書

住まい 豊橋市

好きな言葉 七転び八起き

マイブーム クラシック音楽

コメント 今年度から、月、水、

金曜日の十時十五分から十七時(原則として)まで図書室で勤務させていただいています。学生さんのパワーに圧倒されながらも、一人でも多くの方に、図書室を活用していただけるようにがんばっていきたく思います。まだまだ勉強不足で、ご不自由をおかけしていますが、ぜひ、図書室へお越しいただき、気軽に声をかけてください。お待ちしております。



渡瀬 典生 主任

学生課一年目とはいえ、至らない点ばかりで日々反省しています。

休日家に居るのが嫌いなので、自分から「どっか行こうよ。」と家族

を連れ回して?います。私の辞書にはいわゆる「家族サービス」という言葉はありません。もしかして家でのんびりの方がサービスかも...

盛大に10周年記念式典

平成18年10月1日(日)、本校の開校十周年記念式典を開催しました。約120人の関係者が参加し、運営に尽力してきた方へ感謝状を贈呈しました。

式典後には、サリドマイド児として生まれ、映画「典子は、今」に出演した、白井のり子氏が「あれから25年、今を生きる」と題し、講演されました。障害があっても、今を一生懸命に生きることが明日への幸せにつながることを語り、約2000人の聴衆が熱心に耳を傾けました。



講演する白井のり子さん



オーナー 柴田美代 山下宏雄
 お客様 中野 裕介 知田 愛
 松原 宣子 嶋本 成子
 石井 理枝 野田 知良
 (敬称略)

④ 今回は、福祉一途でできた人と福祉以外の仕事を経験された人に来ていただきました。特に福祉以外の仕事を経験された人にはその経験が今の仕事にどのように生かされているのかを聞き、共にこれからの福祉や介護について考えてみたいと思います。

⑤ 皆さんは、現在、病院・グループホーム・特別養護老人ホームなどで、高齢者の方を対象に介護の仕事をしています。いかがでしょうか。

⑥ 楽しいですよ。ゆったりと利用者さんのペースで仕事しています。

⑦ うちの施設は、忙しい。でもやり甲斐がある。

⑧ 送迎が大変だけど、以前の仕事の経験を生かして楽しくしている。

⑨ ユニット10名だから、全員を見ることができて、その人が何を求めているかを考えて仕事ができるようになった。

⑩ 皆さん今は楽しく仕事しているけれど、以前の仕事、また転職した経験など聞かせてください。

⑪ 卒業後は、他県で介護タクシー会社の立ち上げから責任者として働いていました。違った環境と業務内

容でしたので、大変でしたが、いい経験になりました。

⑫ 私は葬儀屋でアルバイトして、いろいろな人の亡くなり方を見ることができました。そこから、スピリチュアルにも関心を持つようになりました。

⑬ 私は卒業後ずっと、特養に勤めました。仕事に追われ、笑顔が無くなり、嫌になり退職しました。そしてトヨタ自動車に期間工として勤めました。

⑭ ずっと福祉の仕事をしています。人間関係と時間のルーズさが嫌でした。帰りがいつも遅くて、くたくたでした。これでは、いい介護はできないよね。

⑮ 私も、サービス残業が当たり前だから仕事しておかしいと思いましたが、

⑯ トヨタ自動車での現場の仕事は、時間から時間までに業務を終えるのが当たり前。でも福祉の仕事は、だからしたり、手を抜こうと思えばいくらでも出来ます。

⑰ そうだね。いい加減に仕事している人もいますし・・・
 ⑱ 違うことを経験するから、良い

悪しがより理解できるんですね。

⑳ トヨタでの仕事は一年間でした。正社員の道もありましたが、ボランティアでデイサービスへ行行って、やっぱり福祉の仕事がしたいと思って病院のデイに就職しました。

㉑ 経験を生かされたこと、希望などを聞かせてください。

㉒ 新しい所は、いろいろな意見が出て活気があるね。でも、新米のときはなかなか自分の意見は言えない。

㉓ その点、同じ学校の卒業生がいっぱいいると、相談できるし、いろんな意見が聞いて参考になるね。

㉔ でも、周りにそういった人がいなかったの、言えない分行動しました。休憩時間に仕事の段取りをして効率を上げました。

㉕ 実際にどんな風に行動したの？



㉖ 夕方用意するおしぼりをたたんだり、少しでも空いている時間に、記録をつけたりするようにしました。仕事の改善を提案し、

みんなで相談し、自分たちの働きやすい環境を自分たちで創ることができました。それは、前職の経験の陰です。

意見が言えるようになってから職場の人に、だから仕事しても残業代もつかないし、要領よくやれば早く帰れると話して分かってもらえました。これは、一度福祉の世界を離れたから、感じ、行動できたことです。

㉗ 素晴らしいですね。他の仕事を経験し、その良さを福祉に生かす。手際よく仕事をすれば、利用者さんにゆとりを持って接することもできますし、いろいろな経験は、利用者さんとの会話にも生かされますね。

㉘ 仕事だけでなく、遊びも大事だと思いますが、皆さんいかがですか。
 ㉙ この前クリスマス会があったんですが、歌に踊りに仮装にと大活躍しちゃったよ。

㉚ 私は、演劇をやっていて別人になれるし、イベントも大好きです。

㉛ 自分が、プライベートでも充実していると自然と笑顔も多い。

㉜ 私は地元以外で仕事して、それが話題つくりになっていますよ。

㉝ ありがとうございます。福祉の仕事ってきついな。でも、自分の方が癒されている。人間いつまでも勉強ですね。様々な経験が潤滑油を増やし、ゆとりにつながると思います。これからも公私充実したいですね。